

北海道支部

2016年

- ☆5月7日(土)第177回研究談話会(札幌市立大学)
 題目:文学研究とカルチュラル・スタディーズ ブ
 ログ~本作りをめぐる
 発表:本城誠二(北海学園大学)
 司会:加藤隆治(北海道薬科大学)

★終了後、総会

- ☆7月16日(土)第178回研究談話会(札幌市立大学)
 題目:ヒトラーとヘミングウェイが共有した近代
 ——優生思想から読み解く『日はまた昇る』
 発表:本荘忠大(旭川工業高等専門学校)
 司会:松井美穂(札幌市立大学)

- ☆9月10日(土)第179回研究談話会(札幌市立大学)
 題目:大草原の夢と現実:19世紀半ばの Kansas
 発表:黛 道子(順天堂大学)
 司会:伊藤 章(北星学園大学)

- ☆12月10日(土)第26回アメリカ文学会北海道支部大
 会(北海学園大学)
 研究発表
 題目:ビー玉“キャッツ・アイ”が映すもの——
 Margaret Atwoodの *Cat's Eye* と *Survival*
 発表:松田寿一(北海道武蔵女子短期大学)
 司会:松井美穂(札幌市立大学)

特別講演

- 演題:読むことと書くこと——ナボコフの文学講義
 をめぐって
 講師:若島 正(京都大学)
 司会:本城誠二(北海学園大学)

2017年

- ☆1月28日(土)第180回研究談話会(北海学園大学)
 題目:レイ・ブラッドベリ初期作品の物語構造につ
 いて
 発表:若木愛弓(苫小牧工業高等専門学校)
 司会:鎌田禎子(北海道医療大学)

- ☆2月18日(土)第181回研究談話会(北海学園大学)
 題目:Herman Melville “The Bell-Tower” 再読:不
 気味な自動人形の意味の多層性をめぐって
 発表:新関芳生(関西学院大学)
 司会:平野温美(北見工業大学名誉教授)

- ☆3月18日(土)第182回研究談話会(札幌市立大学)
 題目:Henry James の *Washington Square* における
 父、遺産相続、国籍離脱
 発表:斎藤彩世(北星学園大学)
 司会:本村浩二(関東学院大学)

- ☆3月31日『北海道アメリカ文学』第33号発行

【特別寄稿】

読むことと書くこと——ナボコフの文学講義を読む
 若島 正

【研究論文】

二重化される時間:Herman Melville の “The
 Apple-Tree Table” において時間を見ること、聞く
 こと
 鈴木一生

【新刊書紹介】

研究書

- 井川真砂・福土久夫・三石庸子・村山淳彦編集, ア
 メ労編集委員会編『アメリカ文学と革命』所収
 ○寺山佳代子著「カラーラインと闘った解放奴隷,
 ジュビリー・シンガーズ」 岡崎 清
 Dinesh Sharma ed. *The Global Hillary: Women's*
Political Leadership in Cultural Contexts
 ○Eijun Senaha, “A Translation of Her Own: Hillary,
 Japan and the Pivot to Asia” 小古間甚一

翻訳書

- 藤井 光 訳 アンソニー・ドーア 著『すべての
 見えない光』 瀬名波栄潤
 ○大矢 健・岡崎 清・衣川清子・小古間甚一・小
 林一博 訳 クラリス・スタッズ 著
 『アメリカン・ドリーマーズ——チャーミアン・
 ロンドンとジャック・ロンドン』 本城誠二
 ○松田雅子・松田寿一・柴田千秋 訳 マーガレッ
 ト・アトウッド 著『キャッツ・アイ』 松井美穂
 ○平石貴樹 編訳『アメリカ短編ベスト10』
 鎌田禎子
 ○齊藤 昇 訳 ワシントン・アーヴィング 著『昔
 なつかしいクリスマス』 小古間甚一

東北支部

2016年

☆4月30日(土) 2016年度総会・4月例会(東北大学
片平さくらホール)

講演 舌津智之氏(立教大学)

「アメリカ文学と歌謡曲」

司会 中山悟視(尚絅学院大学)

☆6月11日(土) 第1回役員会・6月例会(東北大学
片平さくらホール)

研究発表1

Mamoru “Bobby” Takahashi (Akita Prefectural
University) & Stephen Shucart (Akita Prefectural
University)

“Plot-driven vs. Character-driven Novels IV:
Comparative Analysis of Novels”

司会 筑後勝彦(富士大学)

研究発表2

藤倉ひとみ(東北文化学園大学・非)・徳永慎也(東
北大学・院)

「トルーマン・カポーティの文学——同性愛と作家」

司会 清水菜穂(宮城学院女子大学・非)

研究発表3

宮津多美子(順天堂大学)

「越境する正義, 政治化された人種——アイダ・B・
ウェルズの英国反リンチ運動におけるジェンダー、
国家、キリスト教」

司会 山田 恵(仙台白百合女子大学)

☆11月19日(土)～20日(日) 日本英文学会東北支部
第71回大会(秋田カレッジプラザ)

第一日(研究発表)

研究発表1

林俊一郎(北海道大学・院)

「F. Scott Fitzgerald の最晩年を再考する手がかり
としての The Pat Hobby Stories—A Creditable
Reproduction to Previous Writers」

司会 井出達郎(東北学院大学)

研究発表2

星かおり(東北学院大学・非)

「Alice Walker の *Meridian* (1976) にみる個の確
立と歴史の継承」

司会 山田 恵(仙台白百合女子大学)

研究発表3

海上順代(東京都立産業技術高等専門学校)

「Linda Snopes Kohl の女性像——Faulkner の後
期作に於ける女性像の現代性」

研究発表4

山内 玲(東北大学大学院国際文化研究科)

「*The Sound and the Fury* における南部白人
Quentin Compson の苦悩とイタリア系移民の兄
弟の役割」

司会(上記2発表) 齋藤博次(岩手大学)

第二日(シンポジウム/日本アメリカ文学会東北支
部共催)

「1950年代アメリカの「カミング・アウト」した作
家たち——Tennessee Williams, Truman Capote,
James Baldwin」

司会 村上 東(秋田大学)

講師 藤倉ひとみ(東北文化学園大学・非)

講師 徳永慎也(東北大学・院)

講師 清水菜穂(宮城学院女子大学・非)

☆12月10日(土) 第2回役員会・12月例会(東北学院
大学土樋キャンパス6号館641教室)

研究発表1

藤倉ひとみ(東北文化学園大学・非)

「『M. バタフライ』における女性の役割」

司会 宇津まり子(山形大学)

研究発表2(シンポジウム形式)

「英米大衆音楽を読む」

講師 高橋哲徳(東北工業大学)

「英米大衆音楽の修辞学」

講師 高橋史朗(八戸工業大学)

「幻想と覚醒のカリフォルニア」

2017年

☆3月4日(土) 第3回役員会・3月例会(東北大学
片平さくらホール)

研究発表1

亀山博之(東北大学・院)

「エマソンの「自己信頼」思想再考——「天才」
をめぐる議論を中心に」

司会 熊本早苗(岩手県立大学)

研究発表2

堀 智弘(弘前大学)

「Providence から Probability へ——Frederick
Douglass の奴隷体験記(1845, 1855)を中心に」

司会 山田 恵(仙台白百合女子大学)

研究発表3

齋藤博次(岩手大学)

「*The Tenants* における人種・民族の対立と和解」

司会 村上 東(秋田大学)

☆3月31日(金)機関誌発行『東北アメリカ文学研究』
第40号

(巻頭言1, 第40号記念エッセイ2, 研究論文3, 講演録1, 書評3, 映画評1)

☆4月22日(土)2017年度総会・4月例会(東北大学
片平さくらホール)

講演 本合 陽氏(東京女子大学)

「欲望の三角形とインターテクスチュアリティの
可能性」

司会 齋藤博次(岩手大学)

東京支部

2016年

☆6月例会 2016年6月25日(土)午後1時30分より

場所:慶應義塾大学三田キャンパス南校舎4階445
教室

シンポジウム:21世紀からみるアメリカ演劇の100
年——エスニシティー・家族・社会
の変遷

講師:ジョン・ドーシィ(立教大学名誉教授)

講師:竹島達也(都留文科大学)

講師:谷佐保子(早稲田大学・非)

司会:大森裕二(拓殖大学)

分科会:

近代散文:混血の純潔——*The Last of the Mohicans*
における passing の問題
雨宮迪子(東京大学・院)

現代散文:コーマック・マッカーシー『越境』にお
ける線が描く物語空間
井上博之(東京大学)

詩:Robert Frost と自然描写——*West-
Running Brook* 再評価に向けて
朝倉さやか(立教大学・院)

演劇・表象:後期のシェパード劇——*Heartless* (2013
年初演)を中心に
古山みゆき(青山学院大学・非)

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆9月例会 2016年9月24日(土)午後1時30分より

場所:慶應義塾大学三田キャンパス南校舎4階445
教室

研究発表:Jonkonnu/Gens inconnu——Michelle Cliff
Free Enterprise にみるポストコロニア
ル・アイデンティティ

講師:庄司宏子(成蹊大学)

司会:岩瀬由佳(東洋大学)

分科会:

近代散文:ヨネ・ノグチの *The American Diary of a
Japanese Girl* にみられる、詩人としての
「弁明」

星野文子(和洋女子大学)

現代散文:帝国主義・アメリカ・生政治——戦後小
説としてのトマス・ピンチョン *V.*
阿部幸大(東京大学・院)

詩:Langston Hughes の1920年代初期詩篇を
読む

齊藤修三(青山学院女子短期大学)

演劇・表象:オクソニアン・ギャツビー——アメリカ
遠征軍の英仏短期留学支援制度

三添篤郎（流通経済大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆11月例会 2016年11月12日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟A・B
会議室

研究発表：Teacher's Pet or Dangerous Rebel?—
アメリカ中高教科書におけるマーク・ト
ウェイン, 1870s-1960s

講師：石原 剛（早稲田大学）

司会：上西哲雄（東京工業大学）

分科会：

近代散文：美しい敵としての友——ラルフ・ウォル
ド・エマソン“Friendship”における「距
離の詩学」

冨塚亮平（慶應義塾大学・院）

現代散文：フロンティア更新——Tim O'Brien の
The Things They Carried における鳥の
イメージ

済藤 葵（慶應義塾大学・非）

詩：ある「詩人」たちの系譜——Raymond
Carver, Sherwood Anderson, Alfred
Stieglitz

白岩英樹（国際医療福祉大学）

演劇・表象：オニール劇における「死」の深層——
Desire Under the Elms を中心に

木下律子（創価大学・院）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆12月例会 2016年12月10日（土）午後2時より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟A・B
会議室

シンポジウム：現代アメリカ小説における「保守」
の諸相

司会・講師：山口和彦（東京学芸大学）

講師：深瀬有希子（実践女子大学）

講師：中谷 崇（横浜市立大学）

講師：渡邊克昭（大阪大学）

2017年

☆1月例会 2017年1月28日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟A・B
会議室

研究発表：2016年から悩ましく読み直す人間（の
ToM）と世界（のIoT）——*Gravity's*
Rainbow を一例として

講師：檜崎 寛（無所属）

司会：波戸岡景太（明治大学）

分科会：

近代散文：ギルバート・オズモンドはどこ出身か
——*The Portrait of a Lady* と南北和解
のナラティブ

小島尚人（法政大学）

現代散文：リップスティック・キラ——*Lolita* に
見る消費世界

内田大貴（慶應義塾大学・院）

詩：Emily Dickinson の詩作にみるピクチャ
レスク

冬木詠子（早稲田大学・研究生）

演劇・表象：ソーシャル・ネットワークと記憶の表象
——Adam Johnson, “Nirvana”と Louise
Erdrich, “Domain”を手がかりに
日野原慶（大東文化大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆3月例会 2017年3月25日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟A・B
会議室

研究発表：モダニティと身体性の再創造——Whit-
man, Chopin, James の新しい文学の探求

講師：梶原照子（明治大学）

司会：舌津智之（立教大学）

分科会：

近代散文：「自然」の不自然な本性——“Benito
Cereno”における奴隷制のロジック

伊藤祐太（東京大学・院）

現代散文：アン・ペトリ『ストリート』における自
然主義への介入

木原健次（東京工業大学・非）

詩：Yoko Ono の *Grapefruit* を再び味わう

矢口裕子（新潟国際情報大学）

演劇・表象：*In the Heights* から *Hamilton* へ——Lin-
Manuel Miranda の業績

小池久恵（いわき明星大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆4月例会 2017年4月8日（土）午後2時より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎4階445
教室

特別講演：アメリカと日本と私

講師：赤坂真理氏

司会：越智博美（一橋大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆5月例会 2017年5月27日（土）午後1時半より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎4階443
教室

研究発表：なぜ古典を読むのか——ソローの読書論

講師：佐藤光重（成城大学）

司会：小倉いずみ（大東文化大学）

分科会：

近代散文：Mark Twain の *Personal Recollections of Joan of Arc* と欲望の三角形——内的媒介としてのジャンヌ・ダルクの誕生
大木雛子（早稲田大学・院）

現代散文：The Exile and Homecoming of the Black Man——*Go Down, Moses* における黒人の身体・悲嘆・家族
桐山大介（東京大学・非）

詩：『神の決定』におけるエドワード・テイラーの救済準備説批判
皆川祐太（上智大学・院）

演劇・表象：イマジナリーな科学・技術とパラダイム・シフト——映画 *The Day the Earth Stood Still* の1951年版と2008年版の比較
青砥吉隆（大東文化大学・非）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

中部支部

2016年

☆6月例会

6月18日（土）愛知大学名古屋キャンパス L808教室

研究発表

司会 永瀬美智子（愛知大学）

（1）森あおい（明治学院大学）

「越境するトニ・モリスンの『デズデモーナ』」

（2）鶴殿えりか（愛知県立大学）

「ヘンゼルとグレーテルの変容——トニ・モリスンの『ホーム』における兄妹の闘争」

★研究会終了後、運営委員会を開催

☆9月例会

9月17日（土）中京大学名古屋キャンパスセンタービル 8階0806教室

研究発表

（1）佐々木真帆美（名古屋大学・院）

「『白鯨』における動物と人間の関係」

司会 土屋陽子（愛知文教大学）

（2）森 有礼（中京大学）

「『南部について聞かせてくれよ』——*Absalom, Absalom!*と *Gone with the Wind* における南部の「二度目の死」」

司会 梅垣昌子（名古屋外国語大学）

★研究会終了後、運営委員会を開催

☆11月例会

11月19日（土）愛知大学車道キャンパス 10階 K1001教室

研究発表

司会 中村栄造（名城大学）

（1）竹野富美子（名古屋学院大学）

「ヘンリー・D・ソローとボストン博物学協会」

（2）倉橋洋子（東海学園大学）

「『The Gentle Boy』にみるコミュニティにおける共生への可能性」

★研究会終了後、運営委員会を開催

☆支部ワークショップ（読書会）

12月10日（土）愛知大学名古屋キャンパス L601教室

テキスト：Ta-Nehisi Coates, *Between the World and Me* (2015)

司会・講師：佐々木裕美（愛知東邦大学）

講師：本田安都子（福井大学）

藤井 爽 (近畿大学)

岩塚さおり (愛知学院大学・非)

★12時30分より、臨時運営委員会を開催

2017年

☆2月例会

2月18日(土) 愛知大学名古屋キャンパス L1001
教室

研究発表

(1) 西田梨紗 (白百合女子大学・院)
「『緋文字』における“burdock”の象徴性を
めぐって」

司会 川村亜樹 (愛知大学)

(2) 結城正美 (金沢大学)
「生物文化多様性とエスニックアメリカ」
司会 山辺省太 (南山大学)

★12時30分より、役員会を開催

☆第34回支部大会

4月22日(土) 愛知大学名古屋キャンパス (ささし
ま) 講義棟 L805教室

開会のことば 支部長 長畑明利 (名古屋大学)

研究発表

司会 永瀬美智子 (愛知大)

(1) 古谷裕美 (中央大学・非)
「ヘミングウェイの描く「非なる西洋」とし
てのトルコ——暴力・去勢・死」

(2) 柳沢秀郎 (名城大学)
「ヘミングウェイの地図とドライブ小説」

総会 議長 長畑明利

シンポジウム「ふるさとから遠く離れて——「アメ
リカ」文学における旅と異郷の物語」

司会・講師 森 有礼 (中京大学)

講師 Christopher J. Armstrong (中京大学)

講師 杉浦清文 (中京大学)

講師 中垣恒太郎 (大東文化大学)

特別講演

講師 荒このみ (東京外国語大学名誉教授)

「『風と共に去りぬ』——コモンマンのアメリカン・サーガ」

司会 三輪恭子 (東邦大学)

閉会のことば 川村亜樹 (愛知大学)

関西支部

2016年

☆7月2日(土)『関西アメリカ文学』第53号編集委員
会(第2回)於:龍谷大学

☆7月例会 7月2日(土)

会場 龍谷大学深草キャンパス和顔館(わげんかん)
B107教室

【シンポジウム】(14:00~17:00)

テーマ:「2015年の全米図書賞を読む——21世紀
アメリカ小説の手ざわり」

イントロダクション:矢倉喬士(大阪大学・非)

発表1:青木耕平(一橋大学・院)
「誰がそのツケを払うのか——カレン・
E・ベンダー *Refund* にみるリーマン・シ
ョック以降のアメリカ」

発表2:加藤有佳織(慶応義塾大学・非)
「痛みの寓話、あるいはアメリカ的身体
——ハニヤ・ヤナギハラの *A Little Life*
における不具合の美学」

発表3:佐々木知彦(関西大学・非)
「21世紀のアフロ・アメリカン文学——
アンジェラ・フラノイの *The Turner
House* における Post-Blackness の諸相」

発表4:矢倉喬士
「怒る女性は笑えるか——ローレン・グ
ロフの *Fates and Furies* における複数の
フェミニズム」

発表5:日野原慶(大東文化大学)
「忘れられることへのノスタルジア——
アダム・ジョンソン、*Fortune Smiles* と
記憶」

総評:藤井 光(同志社大学)

★例会前に運営委員会を開催

☆9月例会 9月3日(土)

会場 武庫川女子大学 L1-804

【研究発表】

1. 「J. D. Salinger の作品における東洋表象再考
——短編“De Daumier-Smith’s Blue Period”
および“Teddy”を中心に」
発表者 尾田知子(神戸大学・院)
司 会 杉澤伶維子(関西外国語大学)
2. 「『大昔の怨み』をめぐって——Mark Twain,
“The Facts Concerning the Recent Carnival
of Crime in Connecticut”における自伝的構
築の諸相とダコタ戦争1862」
発表者 杉村篤志(日本学術振興会特別研究

員 [東京大学])

司 会 里内克巳 (大阪大学)

3. 「ヘミングウェイの詩と日本」

発表者 真鍋晶子 (滋賀大学)

司 会 新関芳生 (関西学院大学)

★例会前に運営委員会を開催

☆10月例会 10月8日 (土)

会場 大阪大学文法経講義棟 文41講義室

【研究発表】

1. "Originality and American Authorship: Dickens, Poe and International Copyright in the 1840s"

発表者 巽 玥竹 (キョウ・ゲツチク 京都大学研修員)

司 会 池末陽子 (大谷大学)

2. 「写真家の小説——*The Call of the Wild* 再考」

発表者 小泉嘉輝 (京都大学・院)

司 会 高村峰生 (神戸女学院大学)

3. 「ウィリアム・フォークナーと1930年代のプリント・カルチャー」

発表者 金澤 哲 (京都女子大学)

司 会 山下 昇 (相愛大学)

★例会前に運営委員会を開催

☆11月例会 11月5日 (土)

会場 神戸大学人文学研究科B棟3階 B331教室

【若手シンポジウム】

テーマ「異境の表象——Non-WASP 作家が描くアメリカの内と外」

司会・講師 吉野成美 (近畿大学)

講師 木田悟史 (三重大学), 柳楽有里 (京都大学・院), 西光希翔 (関西学院大学・院), 舞さつき (大阪大学・院)

★例会前に運営委員会を開催

☆支部大会 12月3日 (土)

会場 京都学園大学京都太秦キャンパス 北館3階 N303 AB 教室

【フォーラム】

テーマ「不寛容な時代の愛——アメリカ文学における抒情の系譜」

司会・講師 西谷拓哉 (神戸大学)

講師 舌津智之 (立教大学)

講師 貴志雅之 (大阪大学)

講師 西山けい子 (関西学院大学)

★例会前に運営委員会を開催

2017年

☆臨時総会 1月7日 (土)

会場 龍谷大学大宮学舎 清和館3階ホール

1. 講演 (2時30分～3時30分)

講師 青山義孝 (甲南大学)

演題 「バートルビーと鏡」

司会 丹羽隆昭 (関西外国語大学)

2. 総会 (3時45分～)

★例会前に運営委員会を開催

☆支部総会 5月13日 (土)

会場 関西大学千里山キャンパス 第1学舎2号館 1階 B101教室

1. 総会

2. 講演

講師 花岡 秀 (関西学院大学名誉教授)

演題 「作家とアルコール——ウィリアム・フォークナーと倉橋由美子」

司会 西山けい子 (関西学院大学)

☆6月例会 6月10日 (土)

会場 関西外国語大学中宮キャンパス 本館2階多目的ルーム

【研究発表】

「*Hamilton: An American Musical* のプロソディと登場人物の特質」

発表者 湊 圭史 (同志社女子大学)

司 会 古木圭子 (京都学園大学)

【講演】(日本ソール・ペロー協会、関西英語英米文学会との共催)

“Bernard Malamud: life and fiction”

講師 Ms. Janna Malamud Smith (作家, サイコセラピスト, Harvard Medical School 講師) (ピューリッツア賞作家 Bernard Malamud (1914-86) の長女)

司会 勝井伸子 (奈良県立医科大学)

★例会前に運営委員会を開催

中・四国支部

2016年

☆【中・四国アメリカ文学研究】第52号発行（6月1日）

☆【中・四国アメリカ文学学会会報】第55号発行（6月1日）

☆中・四国アメリカ文学学会評議委員会
開催日 6月11日（土）
会場 広島経済大学立町キャンパス

☆中・四国アメリカ文学学会第45回大会
開催日 6月11日（土）・12日（日）
会場 広島経済大学立町キャンパス（132教室）

第一日 6月11日（土）

研究発表

- 黒住 奏（日本学術振興会特別研究員）
「Leslie Marmon Silko の *Almanac of the Dead* におけるビジュアルイメージの役割」
司会 松永京子（神戸市外国語大学）
- 新井純美（広島大学（院））
「『サンクチュアリ』における南部女性像の解体——テンプル・ドレイクが内包する白人性と黒人性」
司会 山野敬士（別府大学）
- 森 瑞樹（広島経済大学）
「物語への眼差し——*Rabbit Hole* を中心に」
司会 山野敬士
- 渡部知美（島根大学）
「*Sula*（1973）における黒人共同体とパーリアとしての *Sula*」
司会 吉岡志津世（神戸女子大学）

特別講演

講師 水野尚之氏（京都大学）
題 「劇作家ヘンリー・ジェイムズ」
司会 中村善雄（ノートルダム清心女子大学）

第二日 6月12日（日）

シンポジウム

「アメリカ文学の独立」

司会 松島欣哉（香川大学）

- 講師 松島欣哉
「超絶主義者たちと国民文学——エマソンとフラーを中心に」
- 講師 本岡亜沙子（広島経済大学）
「オルコットの短篇小説と新しいアメリカの教養」

3. 講師 山口善成（高知県立大学）
「笑う歴史家——Washington Irving の史実と夢想のアメリカ」

4. 講師 山内 玲（東北大学）
「*Philadelphia Fire* にみる *The Tempest* の翻案と黒人男性であることの困難」

総会

☆「News Letter」第96号発行（10月31日）

☆支部運営委員会
開催日 12月3日（土）
会場 愛媛大学

☆冬季大会

開催日 12月3日（土）
会場 愛媛大学法文学部中会議室（本館2階）

研究発表

- 本田良平（福山平成大学）
「“the darkness rushing past my breast”——*As I Lay Dying* における Dewey Dell の恐怖について」
司会 大野瀬津子（九州工業大学）
- 香ノ木隆臣（岡山理科大学）
「T.S. エリオットの詩における「アメリカの嘆き」の諸相」
司会 島 克也（安田女子大学）
- 外山健二（山口大学）
「ポール・ボウルズと〈翻訳〉」
司会 島 克也

2017年

☆支部編集委員会（論文審査）
開催日 2月18日（土）
会場 県立広島大学

九州支部

ディスカッサント：諏訪部浩一（東京大学）

2016年

☆9月例会

9月3日（土）13時～17時

福岡大学 文系センター棟9階 第B会議室

研究発表1

河野世莉奈（九州大学・院）

「*Beloved*における衣服の効果」

司会：銅堂恵美子（福岡大学）

研究発表2

小谷耕二（九州大学）

「フォークナー『村』と南部の文化的自画像」

司会：早瀬博範（佐賀大学）

特別講演

佐久間みかよ（和洋女子大学）

「アメリカン・ルネサンス期作家のキャラクターとコピーライト：国民性と個性という病い」

司会：高橋 勤（九州大学）

☆日本英文学会第69回九州支部大会（中村学園大学）

10月22日（土）

アメリカ文学部門シンポジウム

「書簡から見る Henry James——ライバル作家、家族観、プライベート、ヨーロッパの表象」

司会・講師：北九州市立大学 齊藤園子

講師：九州ルーテル学院大学 砂川典子

講師：九州産業大学 志水智子

討論司会・講師：佐賀大学 名本達也

コメンテーター：京都大学 水野尚之

☆12月例会

12月17日（土）13時～17時

福岡大学 文系センター棟9階 学部共通室B

研究発表

逆巻しとね（独立研究者）

「法律家から語り手へ——メルヴィル『バートルビー』（1853）と修辞学／弁論術」

司会：大島由起子（福岡大学）

公開ワークショップ

「ポスト冷戦期文学における戦争とサバイバル」

司会：渡邊真理子（西九州大学）

講師：下條恵子（九州大学）「生き残りの技巧——オースター作品におけるパフォーマンス」

講師：渡邊真理子「ティム・オブライエンのヴェトナム」

講師：秋元孝文（甲南大学）「エトガル・ケレットのユダヤのサバイバル」

2017年

☆役員会・KALS 賞選考会

3月4日（土）13時～

佐賀大学 全学教育機構2号館241番教室

☆九州アメリカ文学会第63回大会（佐賀大学 本庄キャンパス）

第一日 5月13日（土）

研究発表

午前の部

第一室 1号館2階124番教室

(1) 松下紗耶（九州大学・院）

「名前から読む *The Autobiography of Miss Jane Pittman*」

司会：宮本敬子（西南学院大学）

(2) 河野世莉奈（九州大学・院）

「母娘関係のねじれ——*God Help the Child*を読み解く」

司会：小林朋子（鹿児島県立短期大学）

総 会（KALS 賞の報告および授賞式）

午後の部

第一室 1号館2階124番教室

(1) 新田よしみ（福岡大学）

「見えない恐怖を顕在化する存在——“Eisenheim the Illusionist”に登場する幻影たち」

司会：渡邊真理子（西九州大学）

(2) 鈴木章能（長崎大学）

「脱西洋中心主義としての「らしさ」の越境と翻訳可能性——カポーティと村上春樹を中心に」

司会：高野泰志（九州大学）

第二室 1号館2階123番教室

(1) 幸山智子（九州大学・院）

「ライオンとユニコーン——Tennessee Williams 初期作品群における D. H. Lawrence の残響」

司会：坂井 隆（福岡大学）

(2) 岡本太助（九州大学）

「初期アメリカ演劇における「ホームランド」の力学」

司会：竹内勝徳（鹿児島大学）

特別講演 1号館2階125番教室

後藤和彦（東京大学）

「再見『アメリカの影』——戦後文学とアメリカ小説について」

司会：早瀬博範

第二日 5月14日（日）

シンポジウム 1号館2階125番教室

“Myth and Meaning in Postmodern American Fiction”

司会・講師：Greg Bevan（福岡大学）

講師：David Farnell（福岡大学）

講師：長岡真吾（福岡女子大学）